

校長室だより

杉並区立向陽中学校
5月号 平成29年5月31日発行
校長 菅野武彦

「人間賛歌が響き渡る学校づくり」を目指して

【今年度のキーワード】 継続

「建設的な和～みんなの向陽中学校～」

◇ 目指す生徒像『自立的に活動できる生徒』の育成を掲げて =その1=

〈親子の距離感 変化「思春期にどう向き合う」(朝日新聞 2014.2) より〉

数年前の新聞記事ですが一部抜粋で紹介します。内容は「思春期の子育て」についてです。

思春期は小学校高学年ごろから始まり、高校生ぐらいまで続く。個人差が大きく、開始時期には4～5年の幅がある。終わる時期も子どもによって違う。体は大人に近づき、精神面でも自立に向かう。深く悩みながら、個としての自分をつくり直し、「自分はこれでいい」と思える物差しを獲得する大事な時期だ。 / 思春期を通過する過程で親の物差しを捨て、自分の物差しを手に入れなければ、大人になっても絶えず他人の評価を気にし続ける。アイデンティティーが確立できず、挫折に弱くなるという。 / では、思春期の心には、どんな特徴があるのだろうか。一つは「哲学性」だ。自分はどう生きるべきかといった問題を深く考え、思索的になる。気分がムウがあったり、反抗するかと思えば甘えてきたりするなど、「不安定」でもある。中途半端な妥協を嫌い、親の矛盾を追及する「極端さ」や、ちょっとしたことで機嫌を損ねる「過敏性」、すぐに答えを求めようとする「性急さ」も特徴だ。 / ただ最近では、こうした特徴がはっきり現れない子どもも多い。情報化が進み、情報や知識の量は多いが、心が追いついていない状態が続く。 / 思春期に子どもは親から離れていくが、最近では親子の会話が増える傾向も見られる。ベネッセ教育総合研究所が2004年と09年、小学校4年～高校2年に実施した調査によると、「母親と友達についてよく、または時々話す」と答えた子どもの割合はどの学年でも09年の方が多く、特に小6～中2で増えた。 / 思春期には親よりも友人を信頼し、悩みを打ち明ける傾向がある。相談し、愚痴をこぼす中で、共感し合って「親友」を得る。でも最近では、ネットを通じてグループで広く浅く付き合うことが多く、友人関係を深められない。 / ネット上でいじめられたり、外されたりすることも珍しくなく、友達を信頼できないのではないか。どうすれば子どもが精神的に自立できるようになるか、親も社会も真剣に考えなくてはならない。(太字と下線は菅野による)

学校においても生徒一人一人の「自立」は大きな目標です。例えば、運動会や向陽祭等の学校行事で見せる向陽中生の一体感は見えて爽快です。昨年度のアンケートの結果でも、「私は運動会や向陽祭などの学校行事に楽しく積極的に取り組んでいる」(87.8%)、「私の学級は学年行事や学校行事などの取組みを通して、協調性や団結力が高まっている」(85.8%)、「向陽中学校は、運動会や向陽祭などの学校行事に全校が一体となって取り組んでいる」(90.6%)からは、

生徒が“主体的に”かつ“楽しく”取り組んでいることがよく分かります。

これは、生徒が教員にあまり頼ることなく自分たちの力で学級をつくっている、行事をつくっていることを示しています。教員があまり前面に出ることなく生徒に任せている。教員は学級の状況把握をすること、学級の和に入れずにいる生徒はいないかなどを見守ることに徹します。教員の出番は生徒への支援であり助言になります。生徒が大人に依存しない姿こそが「自立」であり、生徒一人一人が自立的に活動できるようにすることを目指します。

そこで、保護者の皆様にお願ひがあります。それは学校が目指す「生徒の自立」を家庭での実践してほしいのです。「大人が口や手を出し過ぎず、生徒にやらせてみる」を基本的なスタンスにします。また、保護者の我が子への関わりが自立を妨げていないかを振り返る視点にします。冒頭の新聞記事のように、体の成長とともに精神的にも自立できるようし向けるのです。悩みながらも、「自分はこれでいい」と思える物差しを獲得できるようにするのです。そして、挫折に強い人間に育てましょう。

◇ 『SNS 向陽ルール』をご存じですか？ ～大人の共通理解と実践によって～

今年度の生活指導基本方針の具体的な取組の一つに「SNS 向陽ルールを浸透させ、携帯使用のマナーについて考えさせる」があります。その取組として、5月11日（木）に「情報モラルを身に付ける」というねらいで生徒向けに講演会を開きました。携帯電話使用上の問題やトラブルについて考えました。当日は保護者の皆様の参加も多数あり、一緒に SNS のマナーについて考えていただきました。

さて、本校には『SNS 向陽ルール』があります。このルールが誕生するまでに半年余り費やしました。生徒は東京ファミリーe ルール講座で学び、各学級でもネットトラブルの実態について討議を行いました。また、中央委員会メンバーと保護者代表が大学生を交えてネットトラブルの危険性を一緒に考える討論会を行いました。その後、各学級で『SNS 向陽ルール』の案を考え、最終的に下記の4か条にまとめました。多くの思いが詰まった『SNS 向陽ルール』です。

すでにケータイを持たせているご家庭では、是非とも親子で『SNS 向陽ルール』について話し合い、家庭でのルールを作り、そのルールを守って使用するようご指導ください。まだケータイを持たせていないご家庭では、今後ケータイを持たせる上で親子で話し合う材料にしてください。よろしくお願いいたします。

『SNS 向陽ルール』（平成 27 年度制定）

- 1 SNS に自分や他人の個人情報を書き込まない
- 2 悪口を書き込まない
- 3 家庭でルールを決め、そのルールを友達にも理解してもらう
- 4 使用方法や料金については保護者の同意を得る

「6月3日(土)は 向陽中学校 70周年記念 運動会！」 皆さんで晴天を祈りましょう！

夏を思わせる日差しのなか、向陽中生が元気いっぱい声を出し、一生懸命練習に励んでいます。今年初めての“縦割り種目”（赤・青・黄）にも注目してください。「大縄跳び」の練習で学年を越えた関わりがあります。「スウェーデンリレー」も盛り上がるでしょう。何とか晴天の下で運動会をやらせてあげたいですね！ 皆様方の祈りで晴天に！